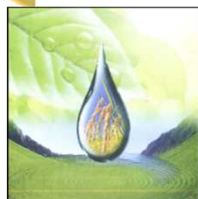


『うるおいの大地』の運用状況

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)
追加型投信／内外／資産複合

2020年2月27日



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)は、先進国のソブリン債(為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用))へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、農業に関連する日本の株式(農業関連日本株マザーファンド)および世界の農業に関連する指数(上場投資信託証券(ETF))に投資をしています。

【第10期も堅調なパフォーマンス】

第10期決算期末(2020/2/14)の「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)」(以下、当ファンド)の基準価額は、1万口当たり10,201円となり、前期末(2019/8/14)の同10,067円から小幅に上昇しました。

設定来の当ファンドの基準価額を見ますと、暫く10,000円を挟んで横這いの推移が続いた後、良好な世界経済を背景とした日本株の上昇を受けて、2017年に大きく上昇しました。その後は、米中貿易摩擦の激化を受けた世界景気の減速懸念から下落しましたが、当期に関しては米中通商交渉の進展などを背景に堅調に推移しました。

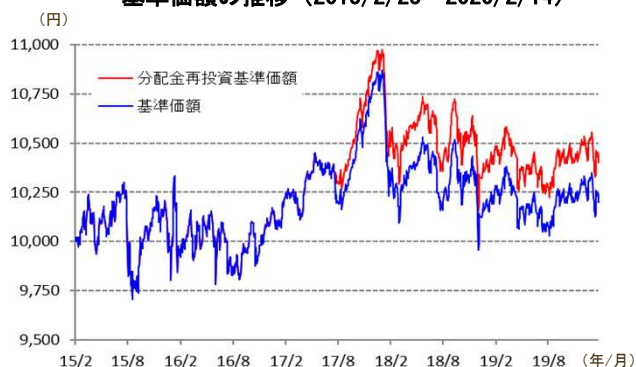
当ファンドは、先進国のソブリン債、日本の株式、世界の農業に関連する指数(ETF)を実質的に組み入れており、複数資産に投資する分散効果がこれまでの堅調なパフォーマンスに繋がっていると考えられます。

日本株に関しては、「農業関連日本株マザーファンド」(以下、当マザーファンド)を通じて、世界的な人口の増加を背景とした食料需要の拡大や、新興国の食生活の変化によって成長が期待される農業関連銘柄、食品関連銘柄を中心に組み入れています。当マザーファンドの基準価額騰落率が、設定来+33.2%(TOPIX(東証株価指数):同期間+13.3%)となっていることも、当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与しています(2月14日現在)。

【株式市場の上昇が基準価額の上昇を牽引】

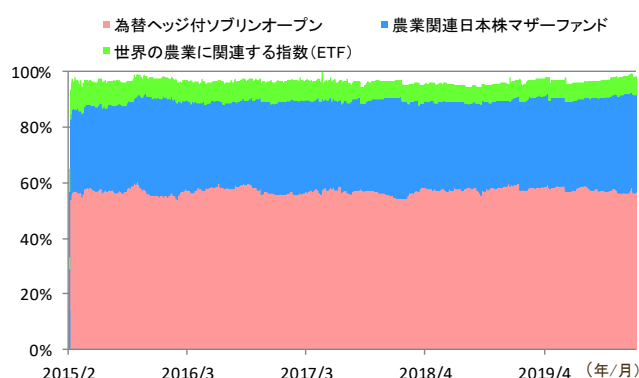
第10期に関しては、当初、米中貿易摩擦の更なる激化を背景とした世界経済の鈍化が懸念されたものの、昨年12月に両国が通商協定の「第一段階」での合意に達したことや、英国の合意なき欧州連合(EU)離脱懸念が後退したことから、国内株式市場は大きく上昇しました(同期間のTOPIXの騰落率:+13.6%)。これを受けて、当ファンドが組み入れている「農業関連日本株マザーファンド」も上昇し、当ファンドの堅調なパフォーマンスを牽引する役割を果たしました。

基準価額の推移(2015/2/23~2020/2/14)



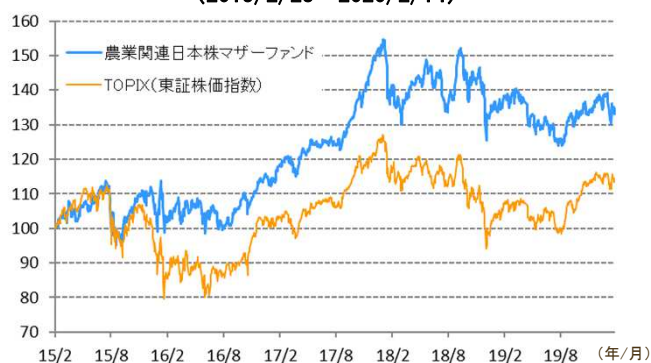
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆又は保証するものではありません

組入比率の推移(2015/2/23~2020/2/14)



※組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です

農業関連日本株マザーファンドのパフォーマンス(2015/2/23~2020/2/14)



※当マザーファンドの設定時を100として指数化しています
(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)
追加型投信／内外／資産複合

〔世界のソブリン債の見通し〕

海外債券市場は、世界的に景気減速に底打ちの兆候が見られる一方、中東情勢などの地政学リスクや中国発の新型肺炎の感染拡大が、実体経済に与える影響が不透明なことから、利回りはレンジ内での推移を予想します。

今後の運用につきましては、国別投資比率においては欧州国債の組入比率を高めに維持する方針です。また、利回りが一段と低下する局面では、デュレーションを短期化する方針です。



〔日本の株式の見通し〕

国内株式市場は、世界的な金融緩和の流れを受けて、堅調な展開になると予想されます。ただし、中国で発生した新型肺炎の感染拡大状況や、米国の大統領選挙後の政策に対する不透明感等により、一時的な調整局面も想定されます。

今後の運用につきましては、米国の農業向けに製品販売の拡大が見込まれる企業、農業関連事業以外の事業で業績改善が見込まれる企業、独自の競争優位性を有し、持続的な業績拡大が展望できる企業等に注目して投資を行う方針です。



〔世界の農業に関連する指数の見通し〕

足元の農産物市場は、ブラジルの通貨レアルの下落を受けた同国産農産物の輸出競争力強化により、輸出拡大が見込まれる大豆やコーヒー豆などを中心に軟調な展開にあります。

今後の農産物市場につきましては、最大の農産物輸入国である中国においてアフリカ豚熱 (ASF) が蔓延し、養豚数が大幅に減少していることや、新型肺炎の感染拡大が続いており、消費への悪影響が避けられないと考えられることから、弱含みの展開になると予想されます。



※上図期間: 2018/1/4~2020/2/14

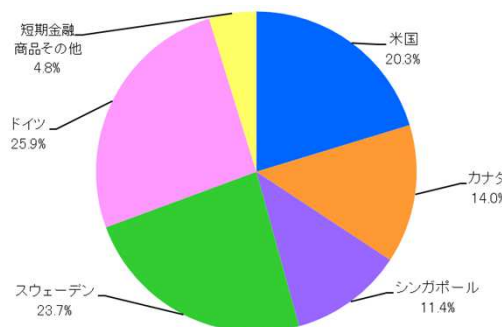
(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

農業関連日本株マザーファンドの
組入上位 10 銘柄 (2/14現在)

	銘柄名	組入比率
1	日産化学	9.0%
2	クボタ	8.5%
3	ワークマン	7.5%
4	寿スピリッツ	7.0%
5	オプティム	6.3%
6	クミアイ化学工業	6.1%
7	トプコン	5.8%
8	アリアケジャパン	5.3%
9	カゴメ	4.9%
10	前田工織	4.8%

※組入比率は、農業関連日本株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の
発行国別構成比率 (2/14現在)



※比率は、為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の純資産総額に対する比率です。

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

(作成: 運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)
追加型投信／内外／資産複合

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、先進国の国債や国内の株式、世界の農業に関連するETF等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、先進国の国債については、原則として為替ヘッジを行いますが、為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。世界の農業に関連するETFについては、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「金利変動リスク」「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが出た場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限2.20%（税抜2.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.1%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×年率0.99%（税抜0.90%）程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券（為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用））を純資産総額の60%程度組入れた場合の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。その他、上場投資信託証券の運用報酬等をご負担いただきます。
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。なお、上場投資信託証券の費用は表示しておりません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)